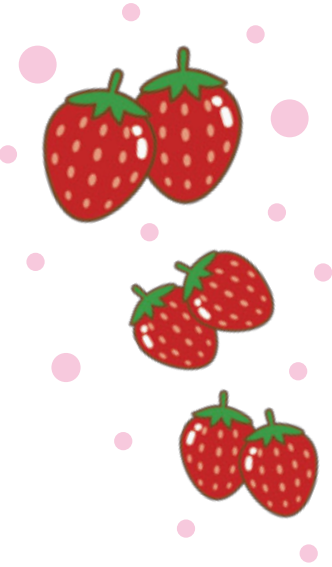




<http://www.jaaso.or.jp/>

# JAあそだより

令和4年4月



JA阿蘇の  
ホームページに  
アクセスできます!



いちご栽培生産者の山辺達也さん(撮影/藤吉友也)

## ■今号16ページ 主な内容

- 全国土づくり大会2021でJA阿蘇が優良事例表彰
- 西原甘藷部会が県野菜組織活動コンクールで優秀賞
- 第62回県農業コンクール大会表彰式/JA阿蘇農機具担当表彰
- 「職員異動のお知らせ」
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント!etc.

今号も話題と情報を満載!!



2022  
陽春

VOL. 122



## ● JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088



## 「全国土づくり大会2021」でJA阿蘇を表彰

### 『特A米獲得に向けた土づくりプロジェクト』優良事例で受賞

全農は2021年12月2日、新横浜プリンスホテルで「全国土づくり大会2021〜未来の食のために〜」を開催しました。Web参加も含め、JA・経済連・全農県本部・土づくり関係肥料メーカーの関係者ら200人を超える方が参加しました。

今大会は、「土づくり」が健康的な農地土壌の保全を通じて、わが国の食や環境を守り、持続可能な社会づくりに貢献することの意義や価値を消

費者へ伝え、生産現場における「土づくり」の意欲がさらに高まるといった循環の輪が、拡大することを目的に開催されました。大会では全国6プロックの優良事例の表彰と事例発表、講師3人による基調講演、全農の取り組み紹介などがありました。九州プロックから優良事例表彰を受けたJA阿蘇は、伊藤照行課長が『特A米獲得に向けたJA阿蘇の土づくりプロジェクト』の事例発表を行いました。



表彰を受けるJA阿蘇の伊藤課長



JA阿蘇をはじめ表彰された各JA関係者

## ◆◆◆ 西原村役場で表彰式 ◆◆◆ 県野菜組織活動コンクール優秀賞「JA阿蘇西原甘諸部会」 2021年度県野菜園芸功労賞「JA阿蘇西原里芋部会」



どの徹底による基腐（もとぐされ）病への対策、さらにアシストスーツ導入によるスマート農業への取り組みが評価され今回の受賞となりました。

また、熊本地震直後の部会員による洗浄場所の確保や、洗浄研磨機の相互利用による出荷の継続などの取り組みも高く評価されました。

同部会の林田直行部会長は「先輩方の苦勞が実って今回の受賞ができた。これからは基腐病に気を付けながら、さらに頑張って生産していきたい」と抱負を述べました。

同日には「2021年度熊本県野菜園芸功労賞」の表彰もあり、JA阿蘇西原里芋部会の東義秋部会長に表彰状が贈られました。東部会長は「里芋農家が減少する中、これからも組織一丸となって里芋を守っていきたい」と抱負を語りました。

西原村役場で2月10日、(社)熊本県野菜振興協会主催「第57回熊本県野菜振興大会」の「第6回熊本県野菜組織活動コンクール」で優秀賞を受賞したJA阿蘇西原甘諸部会の表彰が行われました。

西原甘諸部会は、消費者の嗜好に合わせた品種（シルクスイート）導入やウイルスフリー苗の利用、苗消毒な

西原村の日置和彦村長は「甘諸の品種変更をしたことにより、色味・形がとも良くなり西原村のブランド品となった。林田部会長をはじめ甘諸部会の方々、併せて東部会長をはじめ里芋部会の方々の長年にわたるご尽力に対して深く感謝している」と謝意を伝えました。(写真右上〓右から林田部会長・日置村長・東部会長／写真左上〓右から鞭馬職員・両部会長・齊藤職員)



**第62回熊本県農業コンクール大会  
優れた農業経営者・団体を顕彰  
3月15日に表彰式行われる**

- ◇「経営体」優良賞  
農事組合法人奥阿蘇くさかべ  
佐橋見眞一代表理事
- ◇「新人王」優良賞  
橋本 凌さん
- ◇「地域農力」優良賞  
南阿蘇村農業研修生受入協議会  
今村孝明会長
- ◇「地域貢献賞」  
郷 利治さん



経営体部門優良賞の奥阿蘇くさかべ  
佐橋見眞一代表理事(右)と  
岸口民雄副代表理事

コロナ禍の影響で開催が延期されていた「第62回熊本県農業コンクール大会」(主催〓熊本県・熊本県農業協同組合中央会ほか)の表彰式が3月15日、熊本市の熊本テルサで行われました。

同コンクールは、県内の優れた農業経営者・団体を顕彰し、農業や農



新人王部門優良賞の橋本凌さん

村の活性化を図ることを目的に毎年開かれています。

今回、JA阿蘇管内からは「経営体部門」優良賞に、地域の農地は地域で守ろうと設立し、減農薬・減化学肥料栽培米『百年の恵』ブランドを物産館などで販売、栽培したそばは関連業者に直売。100年以上前に造られた地域の水路を積極的に維持・活用するなどの功績で、高森町の農事組合法人奥阿蘇くさかべ(佐橋見眞一代表理事/主な品目〓水稲・そば・もち麦)。

「新人王部門」優良賞に、祖父母から営農を引き継ぎ、あか牛と黒毛の肉用牛44頭を飼育。大型機械の導入により飼料収穫作業を省力化して粗飼料はほぼ全量を自給。さらに牧野作業を請け負い、阿蘇の草原維持などにも貢献している橋本凌さん(阿蘇市/主な品目〓繁殖牛・水稲・牧草ほか)。



地域農力部門優良賞の南阿蘇村農業  
研修生受入協議会の今村孝明会長(右)と  
山中大輔副会長

「地域農力部門」優良賞には2011年、高い農業技術を持つ生産者ら30人が会員となり、農業研修生受け入れ機関を設立。新規就農者の後押しと定着に貢献してきた南阿蘇村農業研修生受入協議会(今村孝明会長)。

「地域貢献賞」には、長年にわたりあか牛の繁殖技術向上や牧野の再生・維持管理に尽力し、併せて子供たちに地域の伝統行事や農業の歴史を伝える活動などを続けている郷利治さん(南阿蘇村)が選ばれました。

各受賞者に蒲島郁夫知事から表彰状が贈られました。



地域貢献賞の郷利治さん

(写真右〓くまモンがアシスタントを務めた農業コンクール表彰式の様子)





## JA農機実販推進運動成果大会 JA阿蘇職員担当3職員を表彰



原山組合長から表彰を受ける鳴川龍男職員

令和3年度JA農機実販推進運動大会で、JA阿蘇の3名の職員が優秀な成績を収めました。

同成果大会は、県下JAの農機販売及び修理における部門別での実績ポイントで競い、主催団体の熊本県JA農機自動車技術指導会と熊本県経済農業協同組合連合会が入賞者を表彰します。

しかしながら、恒例になっている同大会会場での表彰式は、今回新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止となりました。そのため3月5日、JA阿蘇本所役員室で表彰式がありました。表彰式は部門入賞者ごとに行われます。



前列左から横田健生職員・井健成職員・鳴川龍男職員

修理サービス部門地区個人賞第1位を受賞した鳴川龍男職員、推進部門トラクター賞第2位を受賞した横田健生職員、同部門新人賞第3位を受賞した井健成職員に原山組合長から表彰状が贈られました。

今回表彰された鳴川職員は「農業機械が活躍する時期に、農家の手を止めないように迅速に修理する事を心掛けて、毎日の作業に努めています」と受賞に至った日頃の職務と感想を語っていました。

JA阿蘇は、これからも地域住民や組合員に迅速な修理サービス提供を行い、農作業が安全にスムーズに出来るようにさらに取り組みを継続していきます。

## JA農機実販推進運動成果大会 JA阿蘇大会上位5位入賞者(敬称略)

### 【農機部門/修理サービス料】

順位	所属	氏名
1	阿蘇町農機車輛センター	鳴川 龍男
2	蘇陽農機センター	田上 忠義
3	阿蘇町農機車輛センター	岩下 友春
4	阿蘇町農機車輛センター	堀 克史
5	一の宮農機センター	山部 雄貴

### 【農機部門/供給】

順位	所属	氏名
1	南部農機車輛センター	藤川 平政
2	一の宮農機センター	田中 信矢
3	阿蘇町農機車輛センター	横田 健生
4	一の宮農機センター	下村 憲二
5	阿蘇町農機車輛センター	長野 哲也

### 【車輛部門/修理サービス料】

順位	所属	氏名
1	オートサービスセンター	園田 隆二
2	南部農機車輛センター	田上 幸敏
3	オートサービスセンター	高本 喜平
4	西原農機車輛センター	馬場 弘
5	オートサービスセンター	小茂田孝博

### 【車輛部門/供給】

順位	所属	氏名
1	オートサービスセンター	小島 一夫
2	南部農機車輛センター	河内万紀生
3	オートサービスセンター	高本 喜平
4	西原農機車輛センター	丸野 信壽
5	西原農機車輛センター	馬場 弘





## 野尻地区「ストック」3月まで出荷 昨今の重油代高騰が営農にも懸念



生育状況を確認する白石さんと担当職員

J A阿蘇野尻地区では、多数ある花品目の一つである「ストック」の出荷が盛んに行われています。（昨年12月取材時）

生産農家では寒さ対策をしながらの収穫作業を続けていますが、昨今の重油代高騰による影響が営農のネックとなつてきています。

12月（取材時）、出荷を行っているのは昨年8月下旬に定植したものです。

同地区のストックは冬場の繋ぎ品目として栽培されており、平地の出荷開始となる時期には出荷終了となるため、他産地との重なりがないなどのメリットがあります。

出荷は昨年内にピークを迎え、この3月まで出荷される予定です。

生産者の白石豊和さんは「昨年8月は天候不順だったが、品質も良く

自信を持って出荷している。今後は採花率をさらに向上させるために徹底した栽培管理をしていき、より一層品質向上をしていくことを目標にしたい」と抱負を語っていました。

同地区担当の藤吉善美職員は「前年より生育の揃いが良く、品質が良くできています。今季についても良い販売が期待できる」と話していました。

主な出荷先は九州圏内で、約8万本を予定しています。用途としてはイベント関係がコロナ禍で縮小されていることから、葬祭や仏花として使用されることが多くなつてきています。



## 「阿蘇アスパラガスのファンを作りたい」 就農3年目にかける想い 宮本康平さん

親木の刈取作業が終わったアスパラガスのハウスで、「ゴォー」という音とともに灼熱の炎で株元を焼く…。

J A阿蘇アスパラ部会の生産者である宮本康平さん（36）。2020年に就農するまでは他業種の仕事をしていたが、幼い頃から両親が農業をする姿を見て、いつかは自分も農業をしようと決めていたそうです。

宮本さんは、両親の栽培するアスパラガスを分筆する形でスタートしました。アスパラガス栽培を断念した理由は、両親が栽培していたというところもありますが、植え替えなしで多年的に収穫が可能なことや市場価格が安定しており、経営品目として魅力を感じたことです。

就農後、慣れない作業で戸惑うこともありましたが、両親や熊本県立農業大学校での研修同期生からアドバイスを受けることで乗り越えられたそうです。

現在、栽培管理上で一番気を付けていることは「出来るだけ毎日ハウス内の通路を歩



バーナー焼きをする宮本さん  
（1月6日撮影）

き、親木の状態、土壌の水分状況を確認すること」だと言います。収穫中は座つての作業がほとんどで、立ち上がって見渡す機会が少ないため、アスパラガスそのものが何を求めているのかいち早く気付くために、自らの五感で確認することを心掛けています。

今後、目指していくアスパラガス栽培については「阿蘇アスパラガスのファンを作りたい。そのためにも品質管理にこだわった栽培をしたい。また、アスパラガスに限らず、新規就農者の力になれる存在になれるよう様々なことに挑戦していきたい」と熱く抱負を語っていました。

指導販売係の後藤真智職員は「宮本さんが自らで考え、試行錯誤しながらも新しい技術を習得しようとする前向きな気持ちは、今後の阿蘇アスパラガスにとっても大きな原動力になる」と期待しています。



## 「恋みのり」発進♥作り手の愛情たっぷり JA阿蘇いちご部会



♥恋みのり♥ハートパック



JA阿蘇いちご部会では、ハートパック型規格いちご「恋みのり」の出荷が始まっています。(2月上旬取材)

同規格のコンセプトは、品種名と大玉でも秀品率が高いという特性を活かしたことで、3年前からハートパック型規格いちご出荷への取り組みが継続されてきました。

それまでは、従来の大玉規格いちごの既存出荷パックでは見た目が悪く、市場評価も低いのが現状でした。

しかし、着眼点を変えたハートパック型のデザインやパッケージの見た目が功を奏し、同パックを導入したことで小売店等からの注文が多くなり、物日や記念日の贈答需要として年々

増えており、本年は前年比の倍以上の出荷が続いています。

規格考案者の中部営農センター園芸課の江藤秀晃職員は「イベントや外出等の自粛により、人との繋がりが減っている中、いちご1粒1粒に生産者の愛情をたくさん込めているので、きっと想いは届くと思う。想いを伝える一つのアイテムとして、ハートパック型規格いちご「恋みのり」を購入して頂きたい」と熱く語っています。

JA阿蘇管内での出荷は2月下旬頃にピークを迎えましたが、今後も高品質ないちご出荷に市場からも大きな期待が寄せられています。(写真 2月4日撮影)

## 表紙の生産者「山辺達也さん」紹介

### いちご部会蘇陽支部長を務め、 恋みのり・ゆうべに2品種を約25aで栽培



山辺達也さん・ひろえさんご夫婦は、南部営農センター管内(蘇陽町)でいちごを栽培しています。山辺さんはJA阿蘇いちご部会蘇陽支部長も務めています。品種は恋みのり・ゆうべにの2品種で約25aの栽培面積があります。出荷時期は11月中旬から5月下旬となっています。

山辺さんは22歳で就農、当時はタバコやメロンなどを栽培していましたが、36歳の時にいちご栽培を始めて、それから25年間栽培し続けています。6、7年前は土耕栽培でしたが高設栽培に切り替えを行い、作業の効率化を図りました。自作で高設ベンチなど作成したりもしています。さらに炭酸ガス発生装置を利用することで、収量・品質の向上に繋がっています。

山辺さんは「80歳までは、いちご栽培を続けたい」と力強く話してくれました。その他にもいちごの基本的な栽培方法、収穫の見極め方など、たくさんのお話をして頂きました。

山辺さんのイチゴはJA阿蘇南部野菜センターへ出荷されています。出荷終盤になってきましたが、ぜひ一度味わってみてください。

(写真上=山辺達也さん/写真下=山辺さんとJA阿蘇職員)





## 青壮年部と営農職員が協力 阿蘇西小5年生が 「バケツ稲で農業体験」



JA阿蘇は自己改革の取り組みの一環として、地域の小学校でバケツ稲栽培での農業体験を通じた食育活動を展開し、地域社会の活性化を実践しています。

この取り組みは、南阿蘇地域では2014年から小学校を対象に始めました。去年からは阿蘇市の阿蘇西小学校5年生の児童23人を対象に、バケツを使用して稲栽培を行う農業体験を実施しています。

コロナ禍で大規模な農業体験の活動実施が難しい中、児童が学校生活の中で手軽にできるバケツ稲づくりは体験学習の一つとして最適のようです。体験学習で、児童らはバケツに土と水を入れ、泥の感触を確かめながら

自分専用の田を作り、籾種を3カ所に植えました。

農業体験の指導はJA阿蘇青壮年部の部員と営農担当職員が協力して行い、追肥のタイミングや台風対策などの管理を続けました。

稲刈り後はソフトボールとすり鉢を用いた脱穀体験を行い、また「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「ミルキークイーン」の食べ比べもしました。

一連の体験を終えた児童からは「お米作りの大変さに気付いた。これを機にお米を育てたい」とか「お米のお医者さんである青壮年部と職員の皆さんありがとう」などの感想が聞かれ、バケツ稲栽培を通じて米作りの大変さや有難さを実感してもらえ、良い機会となったようです。

JA阿蘇はこれからも地域とのつながりと共に地域の活性化を目指し、自己改革に取り組んでいきます。(写真上りバケツの中に自分専用の田作りをする児童)

## 小国郷生しいたけ部会 小国小児童らと体験学習会 「駒打ち体験と給食」

JA阿蘇小国郷生しいたけ部会は3月4日、小国小学校3年生47人を対象に駒打ち体験学習会を開き、給



駒打ちの説明を受ける児童

食でも原木しいたけを食べてもらいました。体験学習会は以前から計画されていましたが、コロナ禍で延期されやつと実現の運びとなりました。

県内でも有数の原木しいたけ産地として知られる小国でも生産者は減少傾向にあり、自宅で原木しいたけを生産する家庭も減ってきています。しいたけがどうやってできるのか知らない児童もおり、同部会では食育活動を通してしいたけの良さを教え、駒打ちを体験することで今後の消費

拡大に繋がりたいとの思いもあります。当日の給食には松野英一部会長が納品した乾燥しいたけを使用したメニューが出されました。給食後の授業ではしいたけが栽培され、収穫して流通し消費者の元に届くまでを学

習し、駒打ち体験もしました。松野部会長は「児童らの楽しそうな声を聞くと、自分たちもやる気が出て今後のしいたけ栽培のモチベーションアップになった。これから出荷が始まる春のしいたけもおいしいので、たくさんの方に食べてもらいたい」と話していました。

駒打ちを体験した児童からは手紙にした感想文が届けられ、「木が重くて運ぶのが大変だったけど、とても楽しかったです。収穫祭の時にたくさんしいたけができているかとても楽しみです。できたしいたけは、お家の人とみそ汁にして食べたいです」など書かれていました。



児童には生しいたけと乾燥しいたけがプレゼントされた

# 「JA阿蘇きらり★」

子供と遊ぶと楽しい発見あります！  
小国郷中央支所金融課融資係（融資専任渉外担当）

さとう かづとし  
佐藤 雄哉

★**趣味** 趣味というより、子供と遊んでいるのが楽しいです。6歳と8ヶ月の2人の男の子がいて、予想外のことが多い慌ただしい毎日ですが、色々と発見のある楽しい毎日です。最近はUNOでよく遊んでいます。

★**一言コメント** 入組13年目で、金融課には在籍9年目となり貸付業務全般を担当しています。

まだまだ未熟な点も多く、学ぶ事の多い毎日ですが、少しでも多くのお客様の声に応え、地域社会に貢献できるよう頑張りたいと思いますので、よろしく願っています。



## 「JA職員として」初めての研修会に臨む コロナ禍を考慮してJA阿蘇本所で実施



JA阿蘇は3月24日から2日間にわたって、阿蘇市のJA阿蘇本所で令和4年度新入職員を対象にした新入職員研修会を開きました。例年であれば県下のJA同期一同と合同で研修会を行うのが恒例ですが、昨年引き続き新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、教育センターから講師派遣を依頼して当研修会を開きました。

新入職員らは、①JAとは何か②新入職員への期待③コンプライアンスとは④成功するための目標設定⑤ビジネスマナーなどを学びました。

教育担当の西村恭兵職員は「この2日間の研修で学んだ基礎が10年、20年経ってもしっかりと根付き、頼られる職員となって欲しい。これからはJA職員として胸を張って頑張りたい」と話していました。

令和4年度は9月と12月にも研修会が開かれる予定です。（写真＝研修会に参加した新入職員）



# JA阿蘇 イラスト違い探し「こいのぼり」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください!

(出題:イラストレーター みやた みゆき)



## イラスト違い探し「こいのぼり」応募方法

「こいのぼり」イラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。

正解者の中から抽選で5名様に

「七福醤油セット」(小国町/写真はイメージ)をプレゼントします。

応募締め切りは、令和4年5月15日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



## 前号「つくし」答えとプレゼント当選者7名様



- 坪田 鉄子 様 (南阿蘇村)
- 斉藤 あけみ 様 (一の宮町)
- 甲斐 かつ子 様 (山都町)
- 井 紀和子 様 (産山村)
- 森 京子 様 (阿蘇市)
- 津留 敏郎 様 (西原村)
- 穴井 イキ 様 (小国町)

=答え=

- ① お母さんのマフラー
- ② 男の子の口
- ③ 女の子のボタン
- ④ 犬の耳
- ⑤ 左下の花



ハガキ (表)

869-2612

阿蘇市一の宮町官地387-5

JA阿蘇 総務部

「JAあそだより」係

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望

(内容によっては誌面に取り上げさせていただきます)

●その他

## 令和4年度 J A 阿蘇新入職員紹介「よろしくお願いたします！」

### 村上 廉 (出身地=合志市)

配属先=営農部中部営農センター  
園芸課販売係

趣 味=ゲーム、アクアリウム

抱 負=積極的に丁寧な仕事を心がけます。今年度は資格取得も頑張ります。



### 岩村 翔 (出身地=阿蘇市)

配属先=阿蘇町中央支所購買課購買係  
(グリーンショップやまびこ)

趣 味=野球

抱 負=阿蘇の農業の素晴らしさを伝えていくとともに、農家の方々のサポートなどを中心に頑張っていきたいです。まだまだ未熟ですが、地域の方々と成長していけるように頑張ります。



### 鶴山 良 (出身地=熊本市)

配属先=阿蘇南中央支所金融課  
金融係

趣 味=サッカー観戦、  
体を動かす事

抱 負=一人の社会として自覚を持ち、一つ一つの事を丁寧に取り組んでいきます。また、雄大な阿蘇の地で皆様と力を合わせて地域貢献に努めます。



### 穴見 幸良 (出身地=小国町)

配属先=営農部小国郷営農センター  
畜産課畜産係

趣 味=ドライブ

抱 負=農協、農家さんの力になれるように頑張ります。



### 福田 良亮 (出身地=熊本市)

配属先=阿蘇南中央支所購買課購買係  
(グリーンなんごう)

趣 味=ゴルフ、動画鑑賞

抱 負=阿蘇の農作物の魅力を多くの人々に知ってもらえるよう、色々なことを吸収し、発信できればと思っています。みなさんどうぞよろしくお願いいたします。



### 山口 洋 (出身地=産山村)

配属先=一の宮中央支所購買課購買係  
(一の宮グリーン)

趣 味=ドライブ、釣り

抱 負=利用者様に、少しでも多くの情報を提供できるように頑張っていきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。



### 倉岡 未有 (出身地=阿蘇市)

配属先=阿蘇町中央支所金融課  
金融係

趣 味=料理、食べること

抱 負=阿蘇の良さや農業の素晴らしさを、より多くの方々に知ってもらうために、少しでも力になればと思っています。明るく笑顔で頑張ります。





## JA阿蘇職員異動のお知らせ①(令和4年4月1日発令)

氏名	新 辞 令	旧 辞 令
藤本 明大	阿蘇南中央支所長	共済部長
橋本 美明	共済部長	小国郷中央支所共済課長
宮川 己則	一の宮中央支所長	一の宮中央支所金融課長
松村 浩市	小国郷中央支所購買課北部LPガスセンター主任	一の宮中央支所長
市原 俊昭	営農部南部営農センター参与兼園芸課指導販売係	阿蘇南中央支所長
甲斐喜代美	一の宮中央支所購買課やまなみ給油所係	共済部保全課長
栗焼三千生	金融部金融課貯金融資係	金融部貯金融資課貯金融資係
北 淑子	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(庶務)	営農部園芸精算課園芸精算係
小島 多美	営農部精算課長	営農部園芸精算課長
中島 隆文	一の宮中央支所金融課長	監査室監査課長
阿部 ルミ	金融部融資課長	阿蘇町中央支所共済課LAチーフ
金丸 美和	小国郷中央支所共済課長	小国郷中央支所共済課共済係長
本田 雅康	高森支所金融共済課長	阿蘇南中央支所融資課長
井手 友和	一の宮中央支所購買課長代理(一の宮グリーン)(課長待遇)	一の宮中央支所共済課長
秋吉 武臣	共済部普及課長兼共済推進トレーナー	共済部普及課長兼LAトレーナー
瀬井 真美	高森支所共済課南部地区(Bブロック)LAチーフ	高森支所共済課南部地区(Bブロック)LA係
筑紫百合香	一の宮中央支所購買課購買係(一の宮グリーン)兼女性部係	一の宮中央支所購買課購買係(一の宮グリーン)兼女性部係(課長待遇)
井 幸美	金融部金融課長	金融部貯金融資課長
中嶋 幸代	共済部保全課長	共済部普及課LAトレーナー(課長待遇)
中嶋しおみ	共済部保全課保全係長兼共済事務インストラクター	営農部園芸精算課園芸精算係長
中島ひろみ	阿蘇町中央支所共済課長	阿蘇町中央支所共済課共済係
下村 修生	阿蘇町中央支所購買課阿蘇町給油所長	阿蘇町中央支所共済課LA係
井 達子	金融部金融課貯金融資係Jバンク熊本ローンセンター駐在	阿蘇南中央支所共済課共済係
橋本 由美	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)兼女性部係	阿蘇町中央支所共済課LA係
小林 勝人	高森支所購買課高森給油所長	西原支所購買課西原給油所長
田代 勝	高森支所購買課長	高森支所購買課長兼高森給油所長

## JA阿蘇職員異動のお知らせ②(令和4年4月1日発令)

氏名	新 辞 令	旧 辞 令
工藤 真紀	蘇陽支所金融共済係	高森支所共済課南部地区 (Bブロック) LAチーフ
福本 保裕	阿蘇南中央支所共済課長	阿蘇南中央支所共済課南部地区 (Aブロック) LAチーフ
市原 孝英	営農部南部営農センター担当課長兼農産課農産係	阿蘇南中央支所共済課南部地区 (Aブロック) LA係
佐藤 邦博	営農部農産課農産係	購買部購買課購買係
大津 裕美	阿蘇町中央支所共済課 LA 係	阿蘇町中央支所購買課 (グリーンショップやまびこ) 兼女性部係
宇野 高夫	小国郷中央支所購買課長代理	小国郷中央支所共済課 LA 係
佐竹 寛伸	阿蘇南中央支所共済課南部地区 (Aブロック) LAチーフ	阿蘇南中央支所共済課南部地区 (Aブロック) LA係
工藤 智宏	高森支所共済課南部地区 (Bブロック) LA係	総務部総務人事課総務人事係
筑紫 大輔	一の宮中央支所金融課融資係 (融資専任渉外担当)	金融部貯金融課融資専任渉外係 (一の宮駐在)
佐藤 ゆり	阿蘇町中央支所共済課共済係	一の宮中央支所共済課共済係
古澤 勝己	阿蘇南中央支所共済課南部地区 (Aブロック) LA係 (課長待遇)	営農部南部営農センター担当課長兼園芸課主任
伊藤あずさ	阿蘇町中央支所共済課 LA チーフ	阿蘇町中央支所共済課 LA 係
後藤 大	阿蘇南中央支所金融課金融係長	阿蘇南中央支所金融課金融係
岩下 龍二	阿蘇町中央支所購買課購買係 (グリーンショップやまびこ) 兼中部LPガスセンター長	阿蘇町中央支所購買課阿蘇町給油所長兼中部LPガスセンター長
甲斐 千春	金融部金融課貯金融資係	金融部貯金融課貯金融資係
下村 実加	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係 (品質管理)	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係 (庶務)
佐藤 瑠美	共済部保全課保全係兼共済事務インストラクター	共済部保全課保全係
宮川 理沙	一の宮中央支所共済課 LA チーフ	一の宮中央支所共済課 LA 係
山本 孝子	西原支所長代理兼金融共済係	小国郷中央支所金融課金融係
室 富美幸	一の宮中央支所共済課長	一の宮中央支所購買課長代理 (一の宮グリーン)
高橋なるみ	一の宮中央支所共済課 LA 係	一の宮中央支所共済課 LA チーフ
長野 淑美	共済部普及課共済推進トレーナー (課長待遇)	阿蘇南中央支所共済課長
今村 昭洋	監査室監査課長	高森支所金融共済課長
梶原 治美	営農部精算課精算係	事務電算室事務電算課事務処理係
宅野 正美	西原支所購買課西原給油所長	小国郷中央支所購買課北部LPガスセンター主任
勝木久美子	阿蘇町中央支所共済課 LA 係	営農部中部営農センター農産課農産係



## JA阿蘇職員異動のお知らせ③(令和4年4月1日発令)

氏名	新 辞 令	旧 辞 令
宅野 幸大	金融部金融課貯金融資係長	金融部貯金融資課貯金融資係主任
片倉 洋平	阿蘇南中央支所金融課融資係(融資専任渉外担当)	金融部貯金融資課融資専任渉外係(阿蘇南駐在)
内野 亮	阿蘇南中央支所金融課融資係	阿蘇南中央支所融資課融資係
下城ちずる	共済部保全課保全係兼共済事務インストラクター	共済部保全課保全係
他力 睦子	阿蘇南中央支所共済課共済係	阿蘇南中央支所金融課金融係
小嶋 幸俊	購買部購買課購買係	営農部農産課農産係
佐藤 雄哉	小国郷中央支所金融課融資係(融資専任渉外担当)	小国郷中央支所金融課融資係
浅久野美雪	阿蘇町中央支所共済課LA係	購買部購買課購買係
川崎慎一郎	阿蘇町中央支所金融課融資係(融資専任渉外担当)	金融部貯金融資課融資専任渉外係(阿蘇町駐在)
宮崎 裕介	営農部南部営農センター農産課農産係兼地域農業再生協議会担当	営農部南部営農センター畜産課主任
友岡 康博	営農部南部営農センター畜産課主任兼TAC補佐	営農部南部営農センター農産課農産係兼地域農業再生協議会担当兼TAC補佐
古澤 綾乃	営農部農産課農産係	営農部農産課兼営農部労務管理係
笠野 紘希	阿蘇南中央支所共済課南部地区(Aブロック)LA係	阿蘇南中央支所共済課南部地区(Aブロック)LA係兼南部LPガスセンター
井 美穂	購買部購買課購買係	金融部貯金融資課貯金融資係
松尾 朋	高森支所金融共済課金融共済係	阿蘇南中央支所金融課金融係
秋吉 芳朗	営農部小国郷営農センター農産課主任(精米所・茶)	小国郷中央支所購買課長代理
清高 直樹	小国郷中央支所共済課LA係	営農部小国郷営農センター農産課主任(精米所・茶)兼地域農業再生協議会担当
濱崎 翔大	共済部保全課事故相談係	共済部事故相談課事故相談係
佐藤 晶美	小国郷中央支所共済課共済係	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(庶務)
坂田 麻維	営農部精算課精算係	営農部中部営農センター畜産課畜産係
下谷 莉沙	小国郷中央支所金融課金融係	阿蘇町中央支所金融課金融係
宮崎 大智	営農部中部営農センター園芸課指導販売係	営農部中部営農センター園芸課指導販売係(中部地区野菜集選果場駐在)
倉岡 優希	営農部精算課精算係	一の宮中央支所金融課金融係
田所あかり	阿蘇南中央支所金融課金融係	蘇陽支所金融共済係
竹原 大樹	阿蘇南中央支所購買課久木野給油所係	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)
大塚優里香	一の宮中央支所共済課共済係	一の宮中央支所金融課金融係
中西 菜月	営農部中部営農センター農産課農産係	阿蘇町中央支所共済課共済係

## 理事会・監事会報告

### ■令和3年度第13回理事会

日時 令和4年2月25日午後2時

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
  - 委員会報告(経済専門委員会)
  - 1月末実績報告について
    - 1) 貸出金について
    - 2) 令和2年熊本県常例検査回答書(3回目)(案)について
    - 3) 令和4年度内部監査計画書(案)について
    - 4) JA阿蘇営農経済成長・効率化プログラム「集・選果施設の利用率適正化」におけるJA阿蘇集選果場運営委員会規程(案)制定について
    - 5) 令和5年度JA阿蘇職員募集について(案)

報告事項

- 1) 令和3年度導入家畜等柵卸監査報告書について
  - 2) 令和3年度決算柵卸監査実施要領について
  - 3) 令和4年度監事監査計画書について
  - 4) 決算柵卸休業日について
  - 5) 自主検査結果報告について(11・12月)
  - 6) 第21回総代会日程について
4. 閉会

### ■令和3年度第14回理事会

日時 令和4年3月28日午後1時30分

(役員コンプライアンス研修終了後)

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
  - 委員会報告(債権管理委員会・金融共済専門委員会  
・経済専門委員会・総務専門委員会)

2月末実績について

- 1) 貸出金について
- 2) 令和4年度事業計画書(案)について
- 3) 固定資産減損会計グルーピングの見直しについて
- 4) 令和3年度導入家畜等柵卸監査回答書(案)について
- 5) 令和3年度内部統制システム基本方針の見直しの要否について
- 6) 信用の供与等の限度について(案)
- 7) 令和4年度貸付金利率の最高限度及び借入金の最高限度について(案)
- 8) 令和4年度小口ローン金利施策について(案)
- 9) 令和4年度JA住宅ローン金利施策について(案)
- 10) リスク評価書及びリスク総括表の定例改正について(案)
- 11) 令和4年度余裕金運用方針について(案)
- 12) 余裕金運用等にかかるリスク管理手続の改正について(案)
- 13) 令和4年度役員報酬について(案)

- 14) 令和4年度コンプライアンス・プログラムについて(案)
- 15) 令和4年度クロスチェックの年間実施計画について(案)
- 16) 就業規則・臨時職員就業規則の改正について(案)
- 17) 育児・介護休業規程の改正について(案)

報告事項

- 1) 地公体貸出金について
  - 2) 余裕金運用状況(令和4年2月末)について
  - 3) 自主検査結果報告について(1月)
  - 4) 令和4年度定例理事会日程について
  - 5) 「熊本県域JA構想」の理解醸成について
4. 閉会

### ●令和3年度第11回監事会

日時 令和4年2月10日午後1時

場所 本所2階第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
  - 1) 令和3年度上期決算監事監査回答書について
  - 2) 令和3年度導入家畜等柵卸監査報告書(案)について
  - 3) 令和3年度決算柵卸監査実施要領(案)について
  - 4) 令和3年度決算監事監査日程(案)について
  - 5) 令和4年度監事監査計画書(案)について

報告事項

- ①常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ②令和4年度内部監査計画書(案)について
- ③令和4年度監査報酬見積について
- ④行事予定について
- ⑤その他

4. 閉会

### ●令和3年度第12回監事会

日時 令和4年3月10日午後1時30分

場所 本所2階第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
  - 1) 令和3年度決算柵卸監査実施手続きについて
  - 2) 令和3年度内部統制システムに関する検証結果について

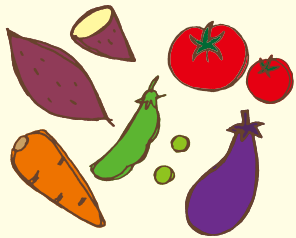
報告事項

- ①常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ②監事会年間計画及び行事予定について

4. 閉会







# 熊本農業の 未来をみんなで考えよう

熊本県域JA構想③

熊本県JAグループでは、環境変化に適時・的確に対応しながら「農家・組合員の多様なニーズに、これまで以上に応えていくため」「JAの組織・経営基盤を将来にわたってより強固なものにするため」に令和2年8月より『熊本県域JA構想』の協議を進めています。



## 「農業・組合員」の視点では、どのようなJAを目指しているの？



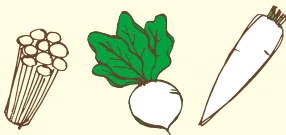
- ①全国トップクラスの販売高を有するJAとして、スケールメリットを最大限に活かした販売力の強化・生産コストの削減を図り、農業所得向上の実現を目指します。
- ②専門的な知識・ノウハウを結集させ、農業者に対する営農指導の実施や経営・生活支援に取り組み、持続的な農業生産の維持・拡大を目指します。
- ③管理部門の集約と施設・職員の合理的・効果的な配置によって、組合員のもとに出向く体制を構築し、「組合員に寄り添う身近なJA」を目指します。
- ④県域JAになっても、出向く体制の強化や定期的な会合の開催、地域活動の強化など、あらゆる場面で組合員との対話を行い、組合員の「声」がJA運営に反映できる体制・仕組みを構築することによって、満足度の向上を目指します。



## 「地域社会」の視点では、 どのようなJAを目指しているの？



- ①日本の「食」を支える農業県熊本に根ざしたJAとしての社会的役割を果たすため、全国に安全・安心な農畜産物を届け続けるJAを目指します。
- ②農業・地域振興を通じ、農業・農村が担う多面的機能の持続的な役割発揮を支え、自然環境の保全・維持に積極的に貢献する組織を目指します。
- ③地域に根づく協同組合らしい総合事業の展開によって、組合員・地域住民の暮らしを支え、豊かでくらしやすい地域社会へ貢献するJAを目指します。
- ④「くらしの活動」の継続的な実施や、組織規模を活かした県全体での広報活動によって「農業・JA・食」への理解醸成を図り、「なくてはならないJA」を目指します。



## 「JA経営」の視点では、どのようなJAを目指しているの？



- ①結集力・スケールメリットを最大限に創出・発揮するとともに、地域性を尊重した事業・組織運営を展開することによって、組織力と地域特性を併せ持ったJA運営を目指します。
- ②組合員・役職員・JA・連合会の総力を結集することによって、環境の激変を見通した事業・組織運営及び経営基盤の強化を図り、次世代の農業者・地域社会を未来永続的に支え続ける組織を目指します。
- ③組織規模に応じた高度で専門的な経営管理・リスク管理の実践により、経営の健全性の確保、コンプライアンス態勢の確立・強化を図り、信頼されるJAを目指します。

次回は、「熊本県域JAの事業別基本方針・個別具体戦略」についてご紹介します。



ホームページもご覧ください。

JAふれあい食材 熊本

検索

## コース別価格表

	1人用	2人用	4人用	6人用	プラスワン
基本コース	-	17,820円	28,510円	38,010円	7,120円
お手軽コース	-	17,820円	28,510円	38,010円	7,120円
わくわくコース	-	20,190円	34,450円	46,330円	10,090円
楽々コース	16,810円	28,030円	-	-	-

※上記の金額は、ひと月の宅配を全てご利用された場合(税込)です。  
 ※プラスワンは各コース2人用・4人用・6人用に主菜を1人分追加できる奇数家族向けのコースです。  
 ※宅配1回あたりの単価は月ごとの宅配回数で異なります。

## お申し込みの流れ

- 1 お電話**  

 お近くの購買店舗へお問い合わせください。
- 2 ご説明(ご訪問)**  

 お近くのJA担当者、ふれあいさんがご連絡のうえ、ご訪問・ご説明いたします。
- 3 お申込み**  

 お近くのJA窓口にてお申込み下さい。  
 ※所定のお申込書へご記入頂きます。
- 4 宅配準備**  

 クッキングアドバイザーとコース選択申込書をお届けします。
- 5 お届け**  

 週3回を基本として、ご自宅に手渡し、もしくは保管箱にお届けします。
- 6 お支払い**  

 お支払いは便利なJA口座引落しをご利用ください。

### お問い合わせはお近くのJA購買店舗・食材センターまで

- ・G一の宮購買店舗 0967-22-3420
- ・やまびこ購買店舗 0967-32-4412
- ・Gなんごう購買店舗 0967-62-9780
- ・蘇陽購買店舗 0967-83-0509
- ・小国郷購買店舗 0967-46-3213
- ・西原購買店舗 096-279-2048
- ・産山購買店舗 0967-25-2311
- ・波野購買店舗 0967-24-2400
- ・高森購買店舗 0967-62-1230
- ・阿蘇町食材センター 0967-32-4432
- ・南部食材センター 0967-64-8326
- ・小国郷食材センター 0967-46-4437

バランスの良い献立をお届けします!!

**JAふれあい** ★ **食材宅配** ★

入会 募集中

のご案内

“JAふれあい食材”は健康とおいさを追求した食材セットを会員様のご家庭までお届けします!安全・安心で便利な食材やご家庭でよく使う食材も豊富なので忙しい方にもピッタリです!!

### 1. 入会費・年会費 無料

入会費・年会費はもちろん、“JAふれあい食材”は**宅配料も無料**です。お食事の準備に便利な食材セットを週に3回を基本に、ご自宅までお届けします。メニューを考える労力や買い物に行く時間をかけずに済み、食材も調理しやすく分類されているので、調理の時間が省けます。家族の人数に合わせて量のお届けで無駄が無く経済的です。

### 3. 毎月自由を選ぶコース

JAふれあい食材には、特色のある4つのコースがあります。ポイントは、**宅配日ごとに毎回コースが選べる**ということです。毎月無料で配布されるレシピ本で各コースの献立をご確認頂き、4つのコースからお好きなコースを宅配日ごとに選ぶ事ができます。

### 2. 無料のレシピ本付き

毎月の献立はもちろん、食材の正しい調理方法や27品目アレルギー、カロリーが掲載されています。毎日大変な献立の悩みもこれ1冊で解決です!



### 4. 栄養バランスのとれた献立

お届けする食材は栄養士が選んでいます。味覚はもちろん、皆さんの健康を考え、栄養バランスにもしっかり気を配って食材を選んでいきます。

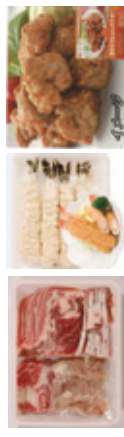
### ■ 基本コース

肉・魚・大豆製品を中心に、栄養バランスを考えた素材中心のコース。健康的な食生活を意識している方、ご家庭の味を大事にしたい方におススメです!



### ■ わくわくコース

お肉が中心のボリュームたっぷりのコース。魚(甲殻類は除く)の苦手なご家庭向けに、肉類を多く取り入れたコースです。



### ■ お手軽コース

主菜のおかずが30分以内で作れるコース。キット商品(材料一式)を使って調理時間の短縮ができるので、料理に時間をかけられない方にもおススメです!



### ■ 楽々コース

レンジや湯煎で簡単に調理できる商品をお届けします。便利なカット野菜や、お刺身、デザートが付いています。1人用からご利用できる、一人暮らしの方にもおススメです!

